

平成27年度の教育活動等に対する学校評価書

平成28年5月20日
 学校法人星美学園 静岡サレジオ小学校長 末吉弘治
 学校法人星美学園 学校評価委員会

- 1 教育目標(誠実な人、良き社会人の育成)
 2 自己評価とそれに対する学校関係者評価

	評価項目	評価内容	自己評価		学校関係者の評価
			評価点	学校としての反省・改善策	
1	教育目標	本校の教育目標「誠実な人・よき社会人の育成」「清い心・たゆまぬ努力」を達成するための取組ができています。	A		◎とても良い取り組みが出来ていると感じる。
2	宗教指導	本校はカトリック学校として全ての教育活動を通じ、その使命を果たしている。	A		
3	教育課程	本校の教育課程は教育目標を達成するために、適切な工夫がされている。	B	◎指導要領に則った教育内容にサレジオ独自の特色を加えたものであるが更に良いものとしたい。 ◎4-4-4制に移行し5年経過するが教員全体で努力を継続している。	◎このところB評価が多いが、学年が上がると関心が高くなるので改善を期待する。
4	評価・認定	本校では、児童の努力の結果を正當に評価できている。	A		
5	教科指導	本校では落ち着いた環境で児童の学力をのばすための授業が行われている。	A		◎児童の学力、性格に合わせた指導が行われている。
6	授業研修	教員の資質向上のため、授業研修や校内研修等が適切に行われている。	B	◎公開研究授業を含め適切に行われているが、教員間に若干、研修に対する理解の差がある。 新年度の研修を進める中で教員が主体性をもって取り組み、相互に高め合う雰囲気づくりをしていく。	◎この項のB評価に対する対策を知りたい。

7	学級経営	本校では、学級活動や個別面談などを通じ児童・保護者の意見が掌握されている。	A		
8	生活指導	児童を正しく導くために教師が共通理解をもち、生活指導に取り組んでいる。	A		◎担任の先生により、取り組みにバラツキがある。教師が共通理解を持っているようには感じられない。
9	進路指導	児童の進路達成のために、適切な指導と学力養成が行われている。	A		
10	安全管理	児童の健康・安全を守るために、通学・防犯・保健の適切な指導や施設管理が行われている。	A		◎児童の安全のため先生が駅まで送って行ってくれることは大きな安心。
11	校務分掌	教職員がそれぞれの職務や担当する役割に対し、責任を持って取り組んでいる。	B	◎各教員間で負荷の偏りを感じている者がいることから、分掌主任との話し合いを通じて必要であれば再調整を行うこととしたい。	◎既に完成形であるべき。A評価を目指してしっかり取り組んでほしい。
12	行事運営	校内外で行われる学校行事は教育目標に照らして十分にその役割を果たしている。	A		
13	管理運営	学校組織の管理運営システムが明確で、役割分担や協力体制が整っている。	B	◎学園全体会議を設置し、校種間の連携強化を図っている。 ◎管理職との連絡、情報共有を密にして意思疎通を改善していく。	◎既に完成形であるべき。A評価を目指してしっかり取り組んでほしい。 ◎各校種間の連携を強化してほしい。
14	施設・設備	本校の施設、設備は児童が生活する上で快適な環境として管理・整備されている。	B	◎現校舎における大きな問題点は新校舎建設の検討の中で反映、改善していくこととしたい。	◎施設設備が快適でない点は、新校舎の建設、耐震工事も含めて検討、改善すべき。今後の学園のあり方に合わせて方向性をはっきりさせてほしい。 ◎どこがどのように不足しているのか知りたい。

15	課外活動	放課後の課外活動を通じ、教師が常に児童と共にいるように努めている。	A		◎高校生位の生徒達は部活と学業を両立させながら成長してほしい。部活の種類は適切なのか。
全般、総合評価		B	授業改善や教員研修は際限のない項目なので現状に満足してはいけないという自己評価になった。一方、教育環境整備(組織作りや施設)については具体的な計画案の元着々と進めているが、計画途上として自己評価したものである。	◎教職員の努力が感じられ、子どもにとっても良い学校だと思う。 ◎小学校教員の自己評価はAが多いが、Bの評価の内容は教育上非常に重要な部分であり、教育の場の雰囲気づくりの要点であるとの認識を持つべき。 ◎評価記号だけでなく評価プロセスや反省・改善事項も知りたかった。 ◎この学校評価も既に数年実施しているのでこの間の改善や反省を明らかにし、「わかりやすい答え」を提示していくべき。	

※評価点
A:十分に成果があった
B:成果があった
C:少し成果があった
D:成果がなかった

今後に向けての学校の考え(学校関係者評価を受けて)

毎年度末、個々、学年部、ステージ毎の反省を行っているが、新年度以降はその具体的反省事項、改善事項を内外に知らせることができるよう態勢を整えたい。
学園としての根幹部を1年1年大切に守りながら新たなサレジオを創造していくことができるよう、個～全体への協力体制をより濃密に感じられる組織づくりをしていく。